

開帳の思い出

次回の薬師如来御開帳（平成二十六年）が四年後に近づいてまいりました。

今回は昭和五十六年のご開帳当時、大東地区の総代として行事運営に携わられた松井金次郎さんに当時の思い出などを執筆頂きました。

追憶

本庄 松井金次郎

かなり昔のこととなり、記憶も薄れてまいりましたが、懐かしく思い出されたことを書いてみました。

昭和五十六年の開帳にあたっては、その前年より開帳実行委員会が結成され、本格的な準備に入りました。この時期、正隆住職（当時）が



前回の開帳(昭和56年)

不慮の事故に遭われ、長期の療養を余儀なくされる大変な状況にありましたが、吉田景時総代長（故人）が、行事の企画から開催資金の調達まで奔走し、地区役員とも再々会合を持ち、準備を進めた頃が懐かしく思い出されます。また、この行事を機に朝日寺御詠歌隊も結成され、私の妻もその一員として参加させて頂くこととなりました。

そして迎えた当日、本堂では近隣の大勢のご住職のご開帳の読経とご詠歌の奉納が始まり、お薬師さまを一目見ようと来られた多くの参拝者で境内はいっぱいでした。午後には護摩供養に加えて、面淨瑠璃や詩吟・民謡・カラオケ大会が催され、老若男女の笑顔がとて印象に残っています。

そして二日目はあいにくの雨でした。そのため残念ながら稚児行列を行なうことはできませんでしたが、めったに着ることのない衣装を身にまとったお稚児さんが客殿に集い、記念写真を撮影しました。三十三年に一度のご開帳にお薬師さまと縁を結べたお稚児さんは一生の思い出に残っていることでしょう。それまでの苦勞と雨の中の賑わい余って、

総代長が体調を崩し救急車で搬送されるというトンだアクシデントも最後に発生しましたが（その後すぐに無事復調され一同ホッとしました）、今となつては当時を知る仲間との語り草となっています。行事後に役員と出席の寺院方を交えた会食では、「さすが朝日寺さん。すごい盛り上がりでしたね。」とねぎらいのお言葉を頂戴し、役員一同胸をなでおろしました。また、参拝者からも「良かった良かった」と声を

掛けられては苦勞も吹き飛びました。一重に総代を中心に役員一同が一丸となつて「成功させよう」という意識があったからだと思えます。先に行なわれた土砂加持法会では私のひ孫も稚児行列に参加させて頂き、晴天の中大変賑わいで、只々ほほえましく思います。どうか次回の開帳も前回以上の盛り上がりで、成功致します様ご祈念申し上げます。

テレビ・新聞で紹介されました



取材のカメラマン達

る隠れ名所」として、裏山一面に咲いたツツジのことが山陽新聞に掲載されました。それ以降数日はカメラ片手に参拝する方の姿が多く見られました。

7月のよみあげ「投げ銭供養」には、テレビ局・新聞社が取材に来られ、夕方のニュース等で報道されました。またこの日は、写真団体も複数撮影に来られており、「今後展覧会等で写真を使わせてもらいたい」とのことでした。

昨年は朝日寺も何度か取材を受ける機会がありました。

2月には読売新聞「寺・社・人きらり」の紙面に《地域まあるく》と題して掲載されました。朝日寺の取り組み（主に節分会の様子）や、檀家さん・地域の方のお話などがほぼ一面使って紹介され、大きな反響がありました。

5月には《写真愛好家も訪れ

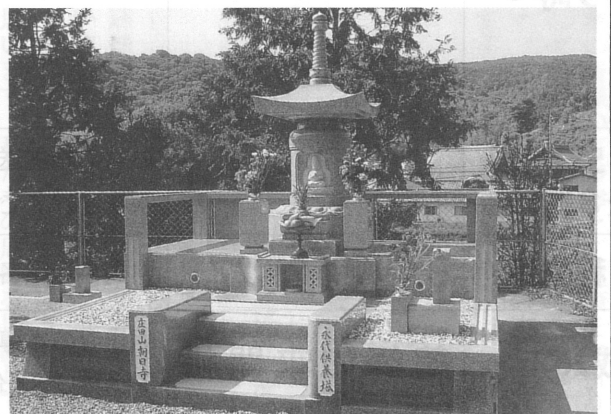


紹介された裏山のツツジ

霊園・永代供養塔について

「朝日寺やすらぎ霊園」は一期分譲分が残り十区画となっております。永代使用料は1㎡68,000円、管理料は800円です。昨年より檀家外の方にも当霊園を購入頂けるようになりました。（ただし、永代使用料が1㎡74,000円です。）墓地をお考えの方はお気軽にご相談下さい。

また朝日寺墓苑には、お墓を管理する人がいない方やお墓の管理が困難な方のために朝日寺が責任を持って供養する永代供養塔があります。納骨料は朝日寺の檀信徒であるなしに関わらず、一霊二十五万円と墓碑書込み料三万円です。また、同時に複数霊納骨される場合や既にお骨



がなくなられている場合等については個別に相談に応じます。永代供養をお考えの方はお気軽にご相談下さい。

平成21年分 寄付金会計のご報告

薬師如来開帳へむけて、5カ年計画でお願いしておりますご寄付でございますが、3年目となりました昨年末現在の会計は以下の通りとなっております。厚くお礼申し上げます。引き続きのご協力を伏してお願い致します。

平成 20 年の残高		1,913,722 円
21 年 収入 の 部	寄 付 金	2,218,000 円
	利 息	933 円
21 年 支 出 の 部	土砂加持法会開催資金	1,400,172 円
	高野山開創 1200 年事業負担金	1,605,000 円
	郵 送 費 等	33,930 円

平成 22 年は別会計より工面している駐車場建設費の一部に充て、その残り翌 23 年分を開帳行事の開催資金に充てる計画でございます。ご協力お願い申し上げます。
※なお、詳しい会計報告は一連の事業が終わってからご協力頂いた方々にお知らせ致します。